

もの言う牧師のエッセー 第156話

「完全リサイクル」

栃木県小山市で再生樹脂製造を手がける協栄産業がすごい技術を開発した！ 何と使用済みペットボトルから未使用のものと同品質のペットボトルを作り上げることに成功したのだ。

これまで使用済みペットボトルからは卵パックなどが作られてきたもののペットボトルへのリサイクルは難しいとされてきた。そのため日本国内で発生する使用済みペットボトル年間60万トンのうち約30万トンが中国など海外に資源として輸出されている。これは円安で原油高のなか貴重な石油資源を流出させているに等しい。

そこで同社は、PET樹脂に入り込んだ不純物を特殊な洗浄と高温真空状態にして除去すると同時に品質を回復させる技術を独自に開発、「ペットボトルがペットボトルに生まれ変わる」という国内完全リサイクルを実現したのだ。しかも同社が再生樹脂生産に伴い発生する二酸化炭素(CO₂)量は、石油から新品を作るよりも約60%削減できるというから驚く。だが、実はこのシステムは日本だからこそ出来た。

同社社長の古沢栄一氏は「1997年の容器包装リサイクル法以来、消費者の協力により日本で回収される使用済みペットボトルは世界でも例がないほどきれいなものになっている。飲み終わったペットボトルからラベルをはがしキャップを取って軽く水ですすぐという今では当たり前の習慣が再生樹脂100%のペットボトルを可能にしている。」と言う。なるほど！

「どうか、私たちの主イエス・キリストであり、私たちの父なる神である方、すなわち、私たちを愛し、恵みによって永遠の慰めとすばらしい望みとを与えてくださった方ご自身が、あらゆる良いわざとことばとに進むよう、あなたがたの心を慰め、強めてくださいますように。」

2テサロニケ人への手紙 2章 16-17節

という聖書の言葉を思い出した。何かを求めて教会を訪れクリスチャンになる人は多いが、嬉しいことが何も起こらない人が少なくない。神はすでに“独自技術”たる愛をもってキリストを我ら人類に下さり、罪を洗浄し、“神の子”として人間をリサイクルを実現されたのだが、だからと言って人間一人ひとりは何もしないで良いのではない。日々、神に対して罪を悔い改め、生かされていることを感謝し、嫌な人にも向き合い、苦手なことにもトライするなどの努力が必要だ。それは面倒な手間のかかることだ。でも、その地道な行為がやがて大きな奇蹟を起こす！ 2014-11-13

